

会報名の『杜の西北』は東久留米市が「都の西北早稲田の杜」から、さらに西北、正確には西北西というべきでしょうが、約18kmに位置することから名付けました。当市の、なお西北西11kmには早稲田大学人間科学部があります。

東久留米稲門会・会報

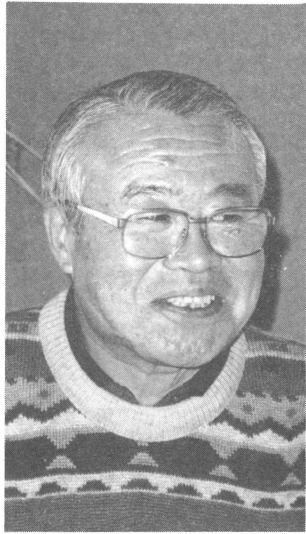
杜の西北

1996年3月
第2号

発行 東久留米稲門会

事務局 東京都東久留米市
新川町1-7-8

電話 0424-76-5432
FAX 0424-76-5430



安宅武一 会長

少しためらいました。実際はそれほどはなかったが、紀憂でしたが。安宅会長 当稲門会の規約第二条には「本会は会員相互の親睦

安宅会長 早稲田の校友は四十

山岡幹事 東久留米稲門会は昨年四月十六日設立されましたがこの稲門会は政党や選挙と関連があるようだと思われ、校友の方々がかなりいらつしやいました。

山岡幹事 安宅会長の当稲門会の設立総会の日が、たまたま東久留米市議会議員選挙の告示日でした。その前後を通して選挙戦が繰り広げられ稲門会発足の時期としては適当ではなかったと反省しております。発足準備を進めてい

山岡幹事 山岡幹事 安宅会長、政治がらみの組織ではないかと疑い入会を

山岡幹事 安宅会長、政治がらみの組織ではないかと疑い入会を



山岡恭子 幹事

山岡幹事 安宅会長の当稲門会の設立総会の日が、たまたま東久留米市議会議員選挙の告示日でした。その前後を通して選挙戦が繰り広げられ稲門会発足の時期としては適当ではなかったと反省しております。発足準備を進めてい

山岡幹事 安宅会長の当稲門会の設立総会の日が、たまたま東久留米市議会議員選挙の告示日でした。その前後を通して選挙戦が繰り広げられ稲門会発足の時期としては適当ではなかったと反省しております。発足準備を進めてい

『当会は、政治とはいっさい、無縁』

安宅会長、基本姿勢を強調

東久留米稲門会が発足してすでに二年目。昨年はスタート年度で何かと混乱や錯誤がありましたが、その反省を糧（かて）として今年度からは会員の皆さんとともに、より実質のある発展の年にしたいと願っています。そこでまず昨年、地元OBの方々に若干の誤解があったと思われる当稲門会の政治に対する基本的なスタンスを鮮明にしておきたいと考え、安宅武一会長に改めて見解をうかがうことにしました。聞き手は当稲門会幹事の山岡恭子さんです。

山岡幹事 安宅会長の当稲門会の設立総会の日が、たまたま東久留米市議会議員選挙の告示日でした。その前後を通して選挙戦が繰り広げられ稲門会発足の時期としては適当ではなかったと反省しております。発足準備を進めてい

山岡幹事 安宅会長の当稲門会の設立総会の日が、たまたま東久留米市議会議員選挙の告示日でした。その前後を通して選挙戦が繰り広げられ稲門会発足の時期としては適当ではなかったと反省しております。発足準備を進めてい

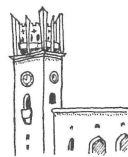
十年位前のことと思う。大学での授業中の私語の多さが世間の話題に上ったことがあった。或る大学では職員を教室に配置し、私語する学生を制止したり、チェックするか、種々と防止に苦心されているのを耳にしたものであるしかし、わが早大生に関して

同じ学部所属のY先生から面白い話を伺い、再び「早大さ」と言う誇らしい気分に浸った。

Y先生は、今でも尊敬申し上げている先生で、週一回G大学に出講され、各学部男女学生約五百人程に一般教育の

答案に取組んでいる学生諸君の姿を目に浮かべたらそんな馬鹿な事が行われる筈はない一枚一枚読ませて頂く。

G大学での部厚い答案の山を静かに読まれていたY先生は、途中で仰天し、息をのまされた。「私が昨日見てきた映



『早大さ』

坂本 信太郎



は、どの学部からも、どの先生方からもそのような事を耳にする事はなかった。どの教室も静かで、学生は整然と受講していた。他大学から出講の先生方からは異口同音に賞賛の言葉が浴びせられ私達

授業を担当されていた。教員にとり一番大変で、つらく苦しい作業は試験の採点である答案を階段から投げ落とすとか何枚目毎に同一点をつけるのだらうとか言う学生が居るが

画について、「僕の一日の生活」、「旨い食堂の案内」といった出題に無関係な答案に遭遇し、しかも可成りの枚数を発見されたからである「先生、その答案どう処理されましたか」。私の質問に

「それはね、君：アッハッハッハッ、では失礼」と先生は泰然と背を向けられた。私は「やっぱり早大は違うな」とつぶやいて帰宅した。

先生が停年になられ、そして私も停年を間近に迎えた期末試験に思いがけない答案を目にして狼狽してしまつた。曰く「おいしいカレーの作り方」。

教練、古本屋、政治論

昭和シングルの早稲田を語る

佐々木東洋氏（昭10専政）

私が早稲田専門部へ入学したのは昭和七年のことです。昭和六、七年といえば歴史的に有名な満州事変や五・一五事件が立て続けに起きた年で、この時期を境に日本は暗い戦争の時代へと傾斜していったわけです。戦争に備え軍部から大佐らが派遣され学生に軍事教練が課されて



活はまだそれほど切迫したものではなくて、早慶戦のあと新宿に繰り出し陽気に飲み騒ぐ光景は大変盛大なものでした。当時は、もちろんスクールバスも地下鉄もないから高田馬場の駅から歩いて通っていたし女の

子学生もいないから男どもがみな角帽、制服で大学周辺の喫茶店、古本屋にたむろしていました。特に戸塚の交差点から大学までは古本屋が軒を並べ、本の虫で漱石ファンだった私はよくそこで時間を潰したものです。大学周辺の雀荘や文学部地下の出版研究会も、思い出多い懐かしい場所です。この研究会でいろいろな学部の学生と知り合い、連日のように文学論や政治論など熱い思いで語り合ったものです。明治時代の雑誌を集めて展覧会を開いたり著名人を招いて

講演会を催したり様々な活動を取り組んで、この会を通じて学んだことは計り知れません。このように講義を聴くことには余り熱心ではなく、特に教練は在学中一度しか参加しなかつた。軍国主義の社会ではあつても、そんなことが許される自由な空気が早稲田にはあつたといふことです。当時専門部の修業年限は三年で昭和十年一緒に卒業したのは約三百人。私も含め多くの同窓がその後従軍し半数以上が戦場に散ってゆきました。今では少なくなった同期です

☆今、キャンパスで☆粗にして野だが卑ではない

昨夏、JTB出版事業局が発行した「るるる早稲田大学」は当会監事で早大広報課長（当時）の宮崎実氏（50杜学）が監修したもの。同誌は「早稲田大学をひと言で表すと？」のタイトルで現役学生にワセダマンの自画像を語らせています。

いわく「十人十色」「何でもあり」「雑木林」「人種のるつぽ」「ふきだまり」「はちゃめちゃ」「フェロモン（怪しいものを発するの意とか）」。

いまま山頭火や逍遙がいるようではありませんか。鈍才もいれば大秀才もいる。一般社会を凝縮したのが昔からの早稲田。

「ミニ東大」に落ちぶれた早稲田」などといったのは、いったいどの誰でしょうか。彼らの自己描写はなお続くのです。

：「でかい」「海」「井戸が隠れている砂漠」「粗野にして高貴」。いいですね。「頭はよくないが魅力がある」。なかなか味わい深いですね。

が、年に一回は集まり旧交を暖めています。卒業後六十年余の歳月が流れましたが早稲田は私にとって永遠に心の古里です。（聞き手、菱山房子、山岡恭子）

《ルポ》 全関東を眼下に 気象予報ライトアップの田無タワーに昇る

このところ急速に地域開発が進み、あたりの雰囲気は一変しているとはいえず、まだ武蔵野の面影がそこに残る田無に夜陰が迫る午後5時、忽然と光線に映し出されて浮き上がる鉄塔がある。日によって光線の彩りが変わる、この塔のことが稲門会の集まりでも「あの鉄塔はなんだ」「あのライトアップは天気予報によって色が変わるそう

だ」などと話題にのぼり、1月10日に見学会を催した写真。高さ195.5mの六角柱の鉄塔は「スカイタワー西東京」(通称、田無タワー)といい、第三セクター方式により平成元年竣工、開業された。設置目的はこの地域の自治体の防災無線や移動体通信、UHF、TVなど各種の無線通信用アンテナの基地化。安宅会長ほか9名の見学メ



ンバーがエレベーターで25階建ビル相当の高さにあるフロアに昇るとそこには視界360度全方位、遮るものもない素晴らしい大パノラマが広がっていた。夕焼け空に秩父連峰、日光連山房総丘陵、刻々とシルエツトが色濃く変わって行くさまはなんとも美しい。特に富士山の稜線に懸かる落日の動きある景観に一同感動させられた。

1階に降り立ってライトアップ設備を見学。電子制御盤などイルミネーション・システムについて説明していただいた。イルミネーションの色彩は天気予報により変えている。「天気の情報塔」の役目を果たしているというのだ。ナトリウム灯、青と緑の高圧水銀灯48基を使って晴(青とオレンジ)、曇(緑とオレンジ)、雨(緑と青)をそれぞれ演出している。

(菱山房子記)

女性サークル誕生

昨年の当稲門会設立総会の当日、何人の女性の同窓生にお会いできるかと胸をわくわくさせて出席しましたが60名以上の男性の中に何と女性5名だけ。30年前の入学式や卒業式がまざまざと思い出されたのでした。しかし私達5名はすぐ親しくなり、胸の名札を頼りに世代を越え、早稲田という共通の土壌で育った4年間を思い出し、10年来の知己のように話が弾み親しみを深くいたしました。

その後、幹事会で女子部を設立してはどうかという提案があり、早速7月私達はその案の検討に入り、9月には女性部会を

結成して部会員の増強にそれぞれ努力することを約束したのでした。また11月には新会員も交えて昔の大学の様子や先生方の思い出など話題は多方面におよび名残り惜しい気持ちで散会いたしました。

本年度はおしゃべり会のほか親睦を兼ねて近郊散策やアクセサリーづくりなどにも挑戦、会員数が増えれば全員で何か、社会のお役に立つことができる会に成長させることもできると考えています。

例会は原則として奇数月の第2土曜の午後2～4時、東久留米駅北口、ミヤモト薬局2階の喫茶店「ジャパン」(☎75・6714)で開いています。

(柴田征子記)

部会、本格始動!

5部会長が挨拶

安藤信雄・囲碁部会長 「部員の棋力の向上を図り将来は近隣稲門会との親善試合も。この際碁を始めてみたい方には懇切に手ほどきをします」 3月17日午後1時中央公民館で第1回例会

橋正治・俳句部会長 「俳句を媒介にして楽しいお付き合いを」 4月20日午後6時、中央公民館で第1回の句会。

柴田征子・女性サークル部会長 「政治的にも宗教的にも全く自由で気楽な会です。あなたの夢を実現できる会に」

入会のご案内

当稲門会へのご入会は年会費3千円。振込み先は次の通り。郵便振替00100006111607 東和銀行東久留米支店(普通) 651340

口座名義はいずれも「東久留米稲門会」。問い合わせは高橋勤・事務局長 ☎76・5432へ

やきとり・海の幸 山の幸 いっぱい!

ご商談、ご家族のお食事にご利用下さい
◇ご宴会は35名様まで承ります

東久留米駅西口前 こすもす
庶民居酒屋「秋桜」
TEL 0424-77-6644

ふだんの時も、 いざという時も。

さいきょうの
スーパー積金
スーパー定期
ライフアップローン
カードローン
貯蓄預金

西京信用金庫
東久留米支店
東久留米市大門町1-2-4
TEL (0424) 71-9511 (内)

平成8年度事業計画案

発足2年目も本会の基礎をが
つちり固めるため、事業をす
めるに当たって次の4本の柱を
設けます。

一、組織運営の骨組みを固める

(1) 定例幹事会

偶数月の第4金曜日、東
久留米市商工会館で午後
7時より。

(2) 第2回通常総会

4月13日(土)、東久留
米市商工会館3階ホール
で午後3時より。

(3) 新年会、ブロック別懇親

会を随時開催し、会員の
親睦を一層深める。

二、広報を定期的に

(1) 会報「杜の西北」

当会規約に

『弔慰規定』

平成7年8月の第3回幹事
会で「東久留米稲門会・規約」
に「会員の弔慰に関する規定」
を追加することを内定しまし
た。正式には来る4月13日開
かれる第2回通常総会に諮り
決定する運びとなります

この規定の内容は、当会会
員本人が死亡した場合、「早
稲田大学 東久留米稲門会」

4、建てで見やすい印刷

とし3月、第2号発行。

(2) ハガキ通信「東稲通信」

1、4、7、10月の各1
日に発行。

三、部会活動の推進

(1) 女性サークル、ゴルフ部

囲碁部、俳句部、散策山
歩き部を発足させ会員に
それぞれ興味のある部会
への参加を呼びかける。

四、当会独自のイベント積極化

(1) 会員対象のイベント

「スカイタワー西東京」
見学。茨城県・東海村原
子力研究所見学。早大人
間科学部デー参加。

(2) 市民対象のイベント

子供たちのサッカー教室
子供たちの野球教室。文
化講演会などの開催。

発足から

躍動

平成7年度 事業報告

【行事】

▽4・16設立総会。来賓に稲葉

三千男東久留米市長、小山宙丸
前早大総長、近隣稲門会役員ら
6名、会員66名出席、盛況。

▽5・19第1回幹事会(当会の
運営方針の決定機関)開催。6

月、8月、10月、12月(忘年会
を兼ねる)を合わせ計5回開催

▽8・26東地区懇親会。会員の
紹介と親睦を図る。参加会員27

名。東久留米駅西口、居酒屋
「コスモス」で。

▽10・7西地区懇親会。参加会
員29名。滝山「柳寿司」で。

【広報】

▽6・5会員名簿発行。収録会
員95名。

▽7・1ハガキ通信「東稲通信」
創刊。ときどきのホットな情報
を会員に提供。10月1日続刊。

△8・21会報「杜の西北」(2
建て)を創刊。

東稲俳壇

大樺 色づけりまた

王者たり

風花の 流れるまに

鳥一声

【サークル活動】

▽6・24鎌倉散策の会。参加16
名。母親、夫人同伴の会員もお
り好天下、古都の初夏を満喫。

▽7・1女性サークル発足。女
性独自の活動、隔月集会などを
申合わせ、9月9日第2回集会

▽7・7加藤久・日本サッカー
協会強化委員長と面談。東久留
米市の小・中学生サッカー教室
開催で快諾を得る。太田副会長

帆角幹事長、高橋事務局長。
▽7・12第1回ゴルフコンペ。

参加17名。浦和CCで。
▽11・7第2回ゴルフコンペ。

参加者15名。妙義CCで。
▽11・11第3回女性サークル集

会。野崎美術館と散策、小物ア
クセサリー講習会など平成8年
度のイベント企画決定。

【近隣稲門会との交流】

▽6・10田無稲門会通常総会出
席。高橋事務局長。

▽7・8保谷稲門会通常総会出
席。高橋事務局長。

▽8・12三多摩稲門会会長会出
席。安宅会長、高橋事務局長。

▽10・8三多摩稲門会連合会出
席。太田副会長。

◇ポケットパーク◇

▼皆んなで蒔いた種が「杜の西北」の中
でどんな花を咲かせ実を結ぶか、楽しみ
です。1月に西東京タワーのてっぺんか
ら見た夕映えに浮かぶ黒富士の姿は最高
でした。(M・E) ▼俄(にわか) 記者は
会員の多士済々ぶりに「るるる早稲田」
の縮図を見る思い。(F・H) ▼やっと
ひと息つける春休み。どこか旅行にい
きたいけれど、沖縄にしようか中国にし
ようか、迷っています。中国はまだ寒い
でしょうか。(キョン) ▼編集会議、楽し
かったです。稲門会のおかげで、思いが
けず市内の先輩の方々とお友だちにな
れました。みなさんとても温かく、やっば
り早稲田はいいなあ、と嬉しくなります
(GAO) ▼桜の季節が近づきました。
この季節になると医者が使う聴診器をも
ち出して、桜の幹のなかを流れる水の音
を聞いては、もの思う陸上自衛隊の司令
が小平駐屯地にいました。花を咲かせよ
うと母なる幹が懸命に地中から水を吸い
上げる、聴診器でそれは奔流のような音
になり、じっと司令は耳を傾けるのです
そういえば、いまこの時期、桜の幹の、
あの黒い肌を削って染物をするとピンク
に染まるといいます。美しい花を産み出
すために桜の木の髄は花と同じ色になっ
ているそうです。(国)

「杜の西北」第2号

1996年3月発行

発行人 安宅 武一

編集人 国米家己三

編集委員 栄田征子、菱山房子
山岡恭子、山下香緒里

事務局 高橋勲 76・5432